

平成28年度 授業改善結果の検証について

学校名 中央区立月島第三小学校

校長名 小野内 雄三

<p>授業改善の 基本方針</p>	<p>取組範囲 (○) 全教科・() 学習力サポートテストの教科・() 重点教科</p> <p>・学習力サポートテスト等の結果を分析・考察し、児童の理解が不十分で、習熟が低い内容については、再度指導をしたり、指導法を工夫したりして、習熟を図る。 ・一人一人の課題を明確にし、個に応じた指導を重視する。 ・問題解決学習において論理的に考える力を育てる。 ・小集団による協働的な学習活動を有効にするために聞く・話す力、対話の力を高める。</p>	
<p>授業改善の 主な取組</p>	<p>重点的に取り組んだ方策・特色ある取組</p> <p>○算数では、学力調査の結果から、つまずきそうな単元の時間数を増やす、必要に応じて単元の順序を入れ替えるなどの工夫をする。 ○漢字の読み書き、音読や暗唱、対話、発表などにより基本的な国語の力を定着させる。 ○問題解決能力を育てるために、自分の考えを図や文で書いて表現する場を多くする。 ○「話す力・聞く力」を高めるために話型やメモの指導などを日常的な活動の中で行う。</p>	<p>成果または課題</p> <p>○指導者同士の打ち合わせや情報共有を丁寧にしたので、教材研究の場としても有効だった。 ○はげみタイムや家庭学習なども活用し、継続的に取り組むことで国語の基本的な力が付いてきた。 ○問題場面を図で表し、グループで話し合うことによって、考える力が付いてきた。 ○朝の会や帰りの会などを活用し継続的な指導をすることで「話す力・聞く力」が付いてきた。</p>
<p>個に応じた 指導の工夫</p>	<p>重点的に取り組んだ指導の工夫</p> <p>○算数の少人数指導では、習熟度別にグループ編成をし、下位児童のグループは人数を少なくし、個別指導を充実する。 ○小グループでの学習等、学習形態の工夫をする。 ○ノートやワークシートのチェック、ミニテストなどにより児童の実態を把握し、理解が不十分なものは再度指導する。</p>	<p>成果または課題</p> <p>○個別指導の時間を十分に確保することにより、学習意欲が向上した。自力解決力の高いコースでは応用問題に取り組むことができた。「数学的な考え方」の理解には課題があり、継続的な指導が必要である。 ○小グループでの学び合いにより言語活動の充実を図ることができた。 ○単元末だけでなく、こまめに評価を行い改善していくことで力を付けることができた。</p>
<p>授業改善の 検証方法</p>	<p>検証として取り組んだ項目に○を付けてください。</p> <p>(○) 管理職による授業観察の検証 (○) 教員相互での授業参観による検証 (○) 校内研究での検証(研究授業等含む) (○) 学習力サポートテスト、定期テスト等の結果による検証 (○) 作品や提出物の評価による検証 (○) 学校評価における教員の自己評価の検証 (○) 保護者及び児童・生徒アンケートによる検証 (○) 外部評価委員会における検証 () その他< ></p>	
<p>授業改善の 主な結果</p>	<p>当てはまる項目に○を付けてください。</p> <p><児童・生徒> (○) 学習意欲がより高まった。 (○) 基礎的・基本的な学習内容がより定着した。 (○) 知識・技能の活用能力や問題解決能力が高まった。 (○) 学力(学習の到達度)の向上が図られた。</p> <p><教員> (○) 指導の工夫や教材開発が図られるようになった。 (○) 授業の指導技術が向上した。 (○) 個に応じた指導がより一層図られるようになった。 () その他< ></p>	

* 各学校の報告資料等があれば添付願います。